

もし、
妊孕性温存のことを聞かれたら、
あなたならどう答えますか？

血液内科・生殖医療・患者がつくる連携のかたち

その先にある未来のために、
移植後の妊孕性を考えましょう

2026年

3月1日(日)

定員：130名

13:30～15:45

場所

東京国際フォーラム1F ホールD1

東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

▶会場地図二次元コード



参加対象

医療者、患者、患者家族、
ボランティア、広く一般の方々

参加費：無料

申込無しでも
参加可能！
直接会場へ
お越し下さい。



▼ 詳細・事前登録（申込フォームより質問を受け付けます）はこちらから ▼
<https://convention.jtbcom.co.jp/jstct2026/publiclecture/>

時間	総合司会：古賀 真美 NPO法人キャンサーネットジャパン 常務理事	
開会 13:30-13:40	はじめの挨拶	大谷 貴子さん 日本骨髄バンク 評議員
講演① 13:40-13:55	妊孕性温存の理想と現実 ～血液内科における取り組み～	塚田 信弘先生 日本赤十字社医療センター 血液内科 部長
講演② 13:55~14:25	調査報告～造血細胞移植後の妊娠を振り返って分かったことと今後の課題	
	1 造血幹細胞移植後の残存妊孕能の評価 ～KSGCTにおける二次調査研究～	蘆澤 正弘先生 自治医科大学 内科学講座血液学部門
	2 造血幹細胞移植後妊娠の実態と安全性 晩期合併症WGの研究結果から	藤井 伸治先生 岡山大学病院 血液内科
	3 造血幹細胞移植後出産経験者における アンケート調査研究	鴨井 千尋先生 岡山大学病院 血液内科
講演③ 14:25-14:55	造血器疾患における妊孕性温存について ～生殖専門医の立場から～	洞下 由記先生 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
Q & A トークセッション 14:55-15:25	患者さんから妊孕性温存について聞かれたとき、どう対応するか	ファシリテーター：大谷 貴子さん 日本骨髄バンク 評議員 蘆澤 正弘先生 自治医科大学 内科学講座血液学部門 / 藤井 伸治先生 岡山大学病院 血液内科 鴨井 千尋先生 岡山大学病院 血液内科 / 洞下 由記先生 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学
講演④ 15:25-15:40	妊孕性温存後の出産 ～凍結卵子によって、造血幹細胞移植後6年目に挙児を得た一例～	藤井 伸治先生 岡山大学病院 血液内科
閉会 15:40-15:45	終わりの挨拶	福田 隆浩先生 国立がん研究センター中央病院 造血幹細胞移植科